

発議案第1号

地方創生交付金を市民生活のために活用することを求める決議について

上記の発議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成27年2月24日

八千代市議会

議長 嵐 芳 隆 様

提出者	八千代市議会議員	横 山 博 美	印
賛成者	八千代市議会議員	木 下 映 実	印
	同	林 利 彦	印
	同	山 口 勇	印
	同	原 弘 志	印
	同	堀 口 明 子	印
	同	菅 野 文 男	印
	同	奥 山 智	印
	同	松 崎 寛 文	印

## 提案理由

市長において、廃止事業にかかわる市民への思いやりを持って地方創生先行型交付金を活用するよう強く要請する。

これが本案を提出する理由である。

## 地方創生交付金を市民生活のために活用することを求める決議

1月23日付で全国市議会議長会より、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する情報提供があった。

この総合戦略は地方の人口減少、経済縮小を克服し、地域それぞれの課題をその地域の特性に即して柔軟に解決することを目的としている。

その総合戦略の口火を切る施策として、平成26年度補正予算により「地域住民生活等緊急支援のための交付金」が交付される運びとなった。

議長が本交付金に係る国の予算審査のさなか国会要望に行った際、八千代市には2億2,600万円が交付される見込みと分かった。このうちの7,100万円が「地方創生先行型交付金」で、一定の制限はあるものの種々の課題に対処し得る間口の広さを持つものである。

平成27年度予算案は市民の暮らし、福祉に関する幾つかの事業費の計上を苦渋の中で断念したことがうかがえるものとなっている。

この交付金は本市にとって貴重な財源となる。市長においては、廃止事業にかかわる市民への思いやりを持って交付金を活用するよう強く要請する。

平成27年2月24日

八千代市議会